

## ⑤ 能代地区 【水土里ネット能代地区】

# 水土里の実践活動

国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として、「水土里の実践活動」を平成25年11月20日に開催した。

実践活動の内容は、能代市シルバー人材センター会員が参加し、素波里頭首工等の基幹的水利施設にて施設見学を実施した。

見学後、参加者との意見交換会を行い、地域資源である農業水利施設の持つ多面的機能の重要性を改めて認識しながら、農業者だけではなく、非農家を含めた地域全体で農業水利施設を守っていかなければならないことについて確認を行なった。

今後とも、能代市シルバー人材センター等の非農家を含めた活動を継続していけるよう努めたい。



活動体制	
実施主体	能代地区管理体制整備推進協議会（事務局：秋田県能代地区土地改良区）
後援・連携	
実施期間	11月20日
参加者	11月20日 能代市シルバー人材センター会員20名 能代市農業振興課 1名 三種町農林課 1名 秋田県能代地区土地改良区 職員4名 計 26名
報道関連	無し
活動実施年数	14年目（H12年～）
連絡先	〒016-0014 能代市落合字中大野台100番地23 秋田県能代地区土地改良区 TEL. 0185-54-3024
その他	県奨励賞（H20）、県知事賞（H24）

### 【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット能代地区（武田 佳晃）

○活動の目標及び達成率	目標	農業水利施設の多面的機能発揮のため、地域住民との施設管理協定締結等の新たな管理体制の枠組みを構築する。			
	達成率	70%			
○活動に対する評価	・協定締結や推進活動を継続してきたことにより、事業の趣旨や重要性が理解され、これまでの活動が定着段階にある。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	—	実施していない
①役職員・組合員の参加	B	役職員以外にも、今後継続して活動することにより理解を深めていきたい。	③運動の計画性	A	施設の概要だけでなく土地改良区の業務内容についても説明した上で活動している
②後継者育成の工夫	—	実施していない	4. 運動の成果		
2. 活動の意味性について			a. 組織活性化	B	役職員以外にも、今後継続して活動することにより理解を深めていきたい。
①基本理念の設定	A	推進協議会で計画策定を実施し活動を実施している。	b. 地域農業	—	地域農業の振興には関係していない。
②地域の歴史等の伝承	B	水利施設での活動等、特徴を生かした運動を実施している。	c. 地域コミュニティー	A	地元自治会及び地域住民団体活動を実施している。
③運動の先駆性	B	推進協議会で計画策定を実施し活動を実施している。	d. 地域資源管理	B	各施設の保全管理の強化につながっている。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	B	予算を考慮して計画策定し、土地改良区負担こそ発生するものの、少額で収まるよう活動を実施している。	・地域住民や地元自治会等との活動を継続し、実践活動の定着を図る。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他